

分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)	
市町村名	上松町	ふりがな 箇所名	あげまつおんたけせん おがわ (一)上松御岳線 小川		工 期 (年度)	当 初	H9 ~ H18
当初事業費	3,400,000 千円		費 用 対 果 効 果	当初	1.36	実 績	H9 ~ H18
最終事業費	3,574,000 千円			評価時	1.25		
事業化の目的	本線は、上松町西部地区と国道19号を結ぶ唯一の幹線道路であると共に森林浴発祥の地である赤沢自然休養林の観光、産業経済振興の面でも重要な路線である。しかしながら、狭隘な地形に位置しており、道路線形が悪く幅員も狭小で、交通の難所となっており、地域住民の日常生活にも危険を及ぼしている状況であった。このような状況を解消し、円滑で安全な交通を確保するため、道路拡幅工事を実施した。						
事業等経過	当初計画内容	道路築造工 L=2,320m W=6.0(10.0)m					
	最終事業内容	道路築造工 L=2,230m W=6.0(10.0)m					
	変更理由	工事費の精査により全体事業費が増額となった。 地権者の同意が得られなかった区間が、未施工となった。					
評価内容							ランク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							B
旧道は道路線形が悪く幅員も狭小なため、交通の難所となっていたが、改良によって、一部区間を除き、円滑で安全な交通を確保され、観光地である赤沢自然休養林へのアクセスが向上した。一方、当該路線には依然として狭隘区間が残っているため、多数の地域住民から早急の対応を求める声がある。							
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:影響なし C:影響あり D:影響が大きい)							C
現道拡幅区間については、自然環境への影響が認められたが、景観に配慮した防護柵などを実施し、アンケート結果からも約7割の地域住民が「変わらない」～「良くなった」の評価であった。							
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない)							A
地域住民の方々により植樹・除草作業が行われるとともに、道路管理者により道路の維持管理が適切に行われている。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							A
工事の必要性、納得度、重要性について8割以上の方から評価されている。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)							B
本路線は未改良の区間があり、早急に工事を求める声が多く出されている。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している - :特になし)							
特になし。							
部意見	一部区間を除き、幅員狭小、線形不良が解消され、円滑な交通と安全性の確保により、事業目的が達成されており、事業効果が高いと判断される。			政 策 評 価 課 見	交通の円滑化と安全性が確保され、事業の目的を達成している。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
地域住民からは、事業計画区間内の未施工区間や先線の未改良区間についての改良要望が数多く挙がっているため、今後も引き続き計画段階からの住民参加を意識しながら、事業推進に努めたい。							

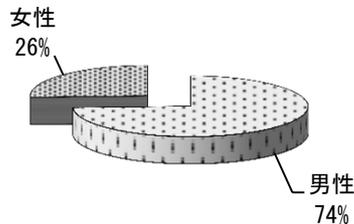
アンケートの方法及び対象

・上松町 地元5地区 (235世帯)、バス・タクシー会社(3社)及び、赤沢自然休養林関係者等に対し、アンケートを実施した。

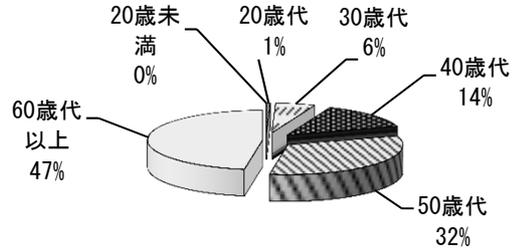
配布数	295
回収数	198
回収率	67% (男性 74% 女性 26%)

アンケート結果

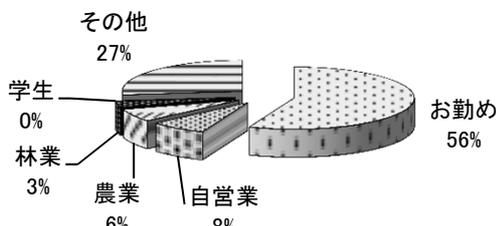
問1 性別



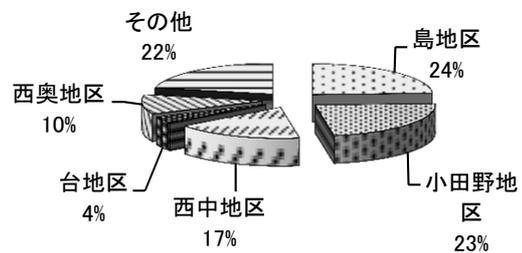
問2 年齢



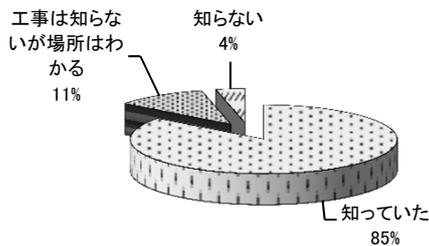
問3 職業別



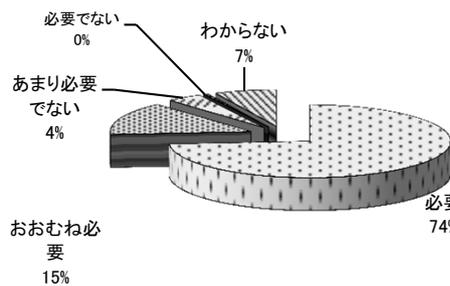
問4 居住地について



問5 事業の認知度について



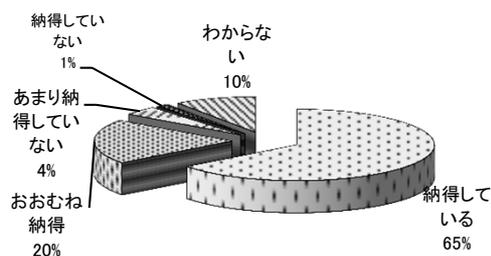
問6-1 事業の必要性について



問6-2 主な理由

- ・道幅が狭くすれ違いが困難で危険な道であったが、拡幅工事により広くなり、安心して通行できるようになった。
- ・歩道ができ安全に歩けるようになった。
- ・集落の中心部を通過することが無くなり、住民の安全が確保された。
- ・国道19号と主要観光地を結ぶ道路であり、地域住民の重要な生活道路であるが、交通量の増加とともに危険性が高まっていたため。
- ・地域住民や観光客にとって、広くて安全な道は欠かせない。
- ・それほど利用してなく、通行に支障を感じていなかったため、あまり必要でない。
- ・道路が広がったことで、車のスピードが出てるようになり危なくなった。

問7-1 事業への税金使用について

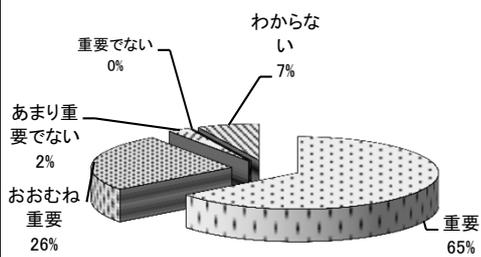


問7-2 主な理由

- ・必要な工事には、税金を投入すべきだと思う。
- ・町内外、不特定多数の方が使用する公共性の高い道路として、税金を投入するに値する事業と思われる。
- ・町の発展のために使われるお金だから納得している。
- ・道が広くなり通行しやすくなったことで、効果を十分果たしている。
- ・自分の納めた税金が有意義に使われているから。
- ・このように改良が必要な場所は他にもあると思う。もっと広く目を向けていただきたい。

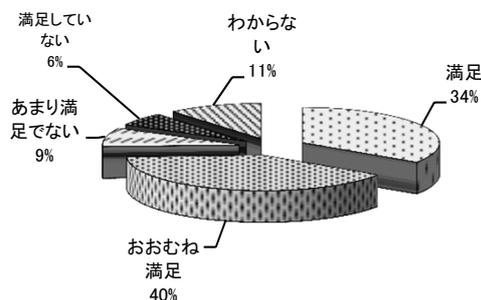
アンケート結果

問 8-1 地域社会にとっての重要性について 問 8-2 主な理由



- ・地域住民にとって大切な生活道路であり、上松町の観光、産業経済振興を担う主要な道路であるから
- ・子供の通学や、コミュニティバスの運行が安全になった
- ・救急車などが走りやすくなった
- ・道路整備により、新しく住居が増える（人が増える）可能性が生まれ、観光客の増加も見込まれる
- ・生活道路としての重要さと、観光地への大型車乗り入れが多いなかで、道路拡幅により、交通の危険性、渋滞の解消が図られた
- ・道路整備は災害や医療（特に医療機関が貧弱な木曾地域にあっては）面で重要で、また観光事業を促進するためにも必要である

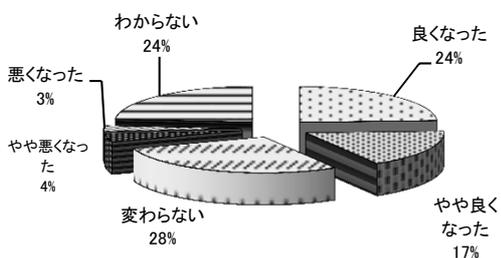
問 9-1 事業の完成結果について



問 9-2 主な理由

- ・もともと小川線は、幅員が狭く大型車のすれ違いが不可能な難所が点在しており、運転に支障があったため完成に満足している。
- ・改良により幅員が広くなり、走行性、安全性が向上した。
- ・ところどころに植樹してあり景観が良くなった。
- ・先線の幅員が狭小な場所についても、継続的な拡幅改良工事を行ってほしい。
- ・スピードを出す車が増えて歩いて通るにはあまり心地よくありません
- ・工事期間をもっと短くしてもらいたい
- ・一部未改良区間で、危険な箇所があるため早期に改良してほしい

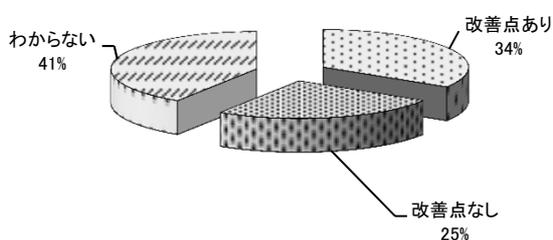
問 10-1 自然環境の変化について



問 10-2 主な理由

- ・スムーズな車の流れにより無駄な排気ガスが出なくなった
- ・道路脇下に植樹したり、花などを植えることで景観は良くなった
- ・工事前は道幅が狭く雑然とした感じを受けたが、工事後は駒ヶ岳、木曾川、小川とのすっきりとした景観が見どころとなった
- ・道路が広がっただけで全体として自然環境への影響は変わっていないと思う
- ・計測方法や比較する資料がないためわからない
- ・コンクリート構造物が視界に入るため、景観はやや悪くなった
- ・殺風景になった

問 11-1 工事の改善について



問 11-2 主な理由

- ・急な勾配を緩和してほしい（凸部で見通しが悪い場所がある）
- ・スピードを出す車が増え危険と思われるので、スピードを落とす工夫してほしい
- ・カーブを少なくして歩道をつけてほしい
- ・未改良箇所の改善をしてほしい
- ・法面上部、防護柵内の立木などの除去をしてほしい
- ・排水処理の不具合箇所を改善してほしい

問 12 その他ご意見・ご要望

- ・道幅が狭く、急なカーブで見通しが悪く、車のすれ違いができない場所が他にもたくさんあり、不便で危険なため早急に改善してほしい。
- ・赤沢自然休養林までの間で、大型車のすれ違いが不可能な場所があるので、早急に2車線道路として整備してほしい。
- ・小田野、島地区の住民の方々が、花いっぱい運動を展開していて毎年ボランティア活動を行っているが、県としてもできるだけ協力をお願いします。
- ・未供用区間の早期着工をお願いしたい。
- ・工事が完了してから、期間がだいぶ経ってしまっているので、もっと早いうちにアンケート調査をしたほうが、回答率が上がるのではと思う。

施工前写真



施工後(現況)写真

